

# ファミリー・フレンドリーな職場の未婚者

## Never-married workers in family-friendly workplace

水落 正明 (南山大学)

Masaaki Mizuochi (Nanzan University)

mizuochi@ps.nanzan-u.ac.jp

本稿は、職場での結婚の有無による扱いの差を未婚者はどのように認識し、その認識が仕事満足度や就業継続意向にどのように影響しているのか分析した。分析結果から次のことがわかった。第一に、大半の未婚男女は職場において結婚の有無による差別はないと回答しているが、平等ではないと認識している場合には、結婚している人の方が優遇されていると感じている回答者のほうが多い。第二に、結婚している人の方が優遇されているという認識は男性の仕事満足度を引き下げる。女性は結婚の有無のいずれの側が優遇されていても仕事満足度が下がる。第三に、就業継続意向については男女とも結婚の有無による扱いの差の影響は確認されなかった。

表 1 仕事満足度に対する結婚の有無による扱いの違いの影響 (順序ロジット)

	男性		女性	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差
仕事のチャンスの与えられ方 (ref: 平等)				
結婚している人の方が優遇されている	-0.4149	0.2526	0.4611	0.2934
結婚していない人の方が優遇されている	0.1537	0.5471	0.0867	0.3014
福利厚生 の提供 (ref: 平等)				
結婚している人の方が優遇されている	-0.1375	0.2121	0.4709	0.2461 *
結婚していない人の方が優遇されている	0.3210	0.5970	1.3788	0.5724 **
仕事の分担の決め方 (ref: 平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.6779	0.2725 **	0.2433	0.2628
結婚していない人の方が優遇されている	-0.1858	0.5550	0.3307	0.4482
仕事以外の時間や都合の考慮 (ref: 平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.3969	0.2182 *	0.2469	0.2271
結婚していない人の方が優遇されている	0.3426	0.6069	0.0531	0.5428
サンプルサイズ	591		449	
対数尤度	-825.6		-621.2	
擬似決定係数	0.0315		0.0642	

有意水準は次のとおり。\*\*\*:  $p < 0.01$ , \*\*:  $p < 0.05$ , \*:  $p < 0.1$ .

従属変数の仕事満足度は、1 (満足している) ~ 5 (不満である) の順になっている。

閾値および次の独立変数の結果は省略した: 仕事の内容、会社規模、役職の有無、年収、週当たり労働時間、年齢、最終学歴、居住地。

表2 就業継続意向に対する結婚の有無による扱いの違いの影響（多項ロジット、男性）

	近いうちにやめるつもり		わからない	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差
仕事のチャンスの与えられ方 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.1107	0.3960	-0.6709	0.3790 *
結婚していない人の方が優遇されている	1.1929	0.9503	0.6952	0.7534
福利厚生の提供 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.2618	0.3395	-0.1632	0.3008
結婚していない人の方が優遇されている	0.8653	1.2310	1.4130	0.8612
仕事の分担の決め方 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.5124	0.4264	0.8680	0.3783 **
結婚していない人の方が優遇されている	-0.5103	1.1679	-0.1808	0.7921
仕事以外の時間や都合の考慮 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.3174	0.3590	0.1554	0.3153
結婚していない人の方が優遇されている	-12.501	537.51	1.5960	0.8358 *
サンプルサイズ			591	
対数尤度			-491.9	
擬似決定係数			0.0757	

有意水準は次のとおり。\*\*\*:  $p < 0.01$ , \*\*:  $p < 0.05$ , \*:  $p < 0.1$ .

ベースアウトカムは「やめるつもりはない」。

定数項および次の独立変数の結果は省略した：仕事の内容、会社規模、役職の有無、年収、週あたり労働時間、年齢、最終学歴、居住地。

表3 就業継続意向に対する結婚の有無による扱いの違いの影響（多項ロジット、女性）

	近いうちにやめるつもり		わからない	
	係数	標準誤差	係数	標準誤差
仕事のチャンスの与えられ方 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.6831	0.4361	-0.0338	0.4239
結婚していない人の方が優遇されている	0.1173	0.4751	-0.4104	0.4550
福利厚生の提供 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	-0.2264	0.3928	-0.7497	0.3780 **
結婚していない人の方が優遇されている	0.7169	0.7882	0.4826	0.7493
仕事の分担の決め方 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.4673	0.4275	0.0176	0.3766
結婚していない人の方が優遇されている	0.2707	0.6686	-0.2755	0.6457
仕事以外の時間や都合の考慮 (ref:平等)				
結婚している人の方が優遇されている	0.1619	0.3859	0.3979	0.3172
結婚していない人の方が優遇されている	0.3500	0.8080	0.8371	0.7516
サンプルサイズ			449	
対数尤度			-376.3	
擬似決定係数			0.0859	

有意水準は次のとおり。\*\*\*:  $p < 0.01$ , \*\*:  $p < 0.05$ , \*:  $p < 0.1$ .

ベースアウトカムは「やめるつもりはない」。

定数項および次の独立変数の結果は省略した：仕事の内容、会社規模、役職の有無、年収、週あたり労働時間、年齢、最終学歴、居住地。